

年	組	名前
---	---	----

豊後高田 記念日登録で市PR



1・10 移住の日

4・29 昭和の町の日

8・10 全力発展の日

豊後高田市は、市の施策や魅力をPRするため、三つの記念日を登録しました。

日本記念日協会の加瀬代表理事(右)から登録証を受け取った永松市長(中央)

8月10日は市のブランドマーク「全力発展中」の「8(はっ)10(てん)」、1月10日は市外からの移住促進の「1(い)10(じゅう)」に由来。昭和の日に合わせて2006年度に制定していた「昭和の町の日」を加えて登録した。市の重点施策を対外的に公表することで市の知名度向上を図る狙いがある。

豊後高田市は10日、市の施策や魅力をPRするため、三つの記念日を一般社団法人日本記念日協会(長野県)に登録した。語呂合わせなどから8月10日を「全力発展の日」、1月10日を「移住の日」、4月29日を「昭和の町の日」にそれぞれ設定。市役所で登録証の授与式があった。

重点施策 広める機会に

同協会は1991年に設立。記念日の由来や活動内容、他に類似の記念日がないかなどを審査し、認定証を交付している。現在、全国各地の企業や団体、個人が約1100件を登録している。協会ホームページで日付ごとに公開している。

この日の授与式で、同協会の加瀬清志代表理事(62)は永松博文市長に登録証を手渡し、「二団体が一度に三つの記念日を登録するのは初めて。豊後高田を大勢の人にとってもらうチャンスになると思う」とあいさつ。

永松市長は「市が大事にしている施策を宣言する機会になった。市民と一緒に頑張って、これからも頑張っていきたい」と話していた。

(2015年8月11日朝刊16面)

①市が記念日を登録した狙いは何でしょう。

.....

.....

.....

.....

②あなたが住んでいる市町村の記念日を考えてみよう。

.....

.....

.....

.....

③自分の記念日を考えてみよう。

.....

.....

.....

.....